

■伊藤為吉 発明と社会運動の建築家。「服部時計店」など銀座の風景に貢献し、職工問題や新工法に挑戦し続けた。

いとうためきち

禁門の変・・・1864＝ 伊勢国松阪近郊に生まれた。

明治維新・・・1868＝ 4歳：

明治6年政変 1873＝ 9歳：

佐賀の乱・・・1874＝10歳：伊勢山田町に移る。

琉球処分・・・1879＝15歳：\_馬車代用機械車を発明。実用にならず。

明治14年政変1881＝17歳：

新体詩抄・・・1882＝18歳：上京。同郷の尾崎口雄宅に書生となる。\_工部大学の自称「自由研究生」となり機械学を学ぶ。

岩倉具視没・・・1883＝19歳：芝新銭座の近藤真琴の攻玉社に学僕となる。

秩父事件・・・1884＝20歳：洋行(米国)を志し、国許より父母を迎え、同宿の片山潜を米国に先行させる。

内閣発足・・・1885＝21歳：\_渡米。

国民之友始・・・1887＝23歳：\_帰国。東京でクリーニング工場を始め、また洗剤を売り出す。家具製作を始める。

初の対等条約1888＝24歳：家族全員で、キリスト教徒となる。

帝国憲法発布1889＝25歳：\*駒込教会堂を建て、そこで結婚。長女誕生。伊藤建築事務所を設立。芝愛宕館ホテル、愛宕塔を建てる。

足尾鉞毒始・・・1891＝27歳：\_濃尾地震被災地視察し、「日本建築構造改良法完」。

大本教・・・1892＝28歳：長男晃出生するが、夭折。\_「地震・水害・暴風安全家屋」農商務省特許。「職工軍団」創立趣意書発表。

郡司千島探検1893＝29歳：次男誕生。\*「地震建築に関する工夫片々」発表。郡司成忠らの千島探検に、発明の「耐寒家屋」を寄贈し、3時間で組立て完了成功と感謝される。

日清戦争始・・・1894＝30歳：\_「木工術教科書」。三菱社一号館煉瓦積工事を、職工軍団を率いて請け負う。銀座服部時計店を建てる。

日清戦争終・・・1895＝31歳：三男鉄衛出生。神田に「地震・水害・暴風安全家屋」を建て、居住。今治の山室軍平が「職工徒弟学校」入学を希望して上京、伊藤家に入る。\_「耐震的鉄具使用の困難を論じて木製切組法の完成を期せむとす」。

白馬会・・・1896＝32歳：山室軍平、救世軍士官となる。片山潜が帰国。四男祐司出生。\_「職工徒弟学校」設立趣意書発表し、募金のための音楽演芸会開催(以後3回)。「海備被害建物の調査に就て」。自宅に標本家屋を建てる。

八幡製鉄始・・・1897＝33歳：\_「建物造営心得書」発行。

子規句歌革新1898＝34歳：父が死去。

Bushidou・・・1899＝35歳：五男喜惣出生。\_「木造耐震家屋の定規を述べ耐震建築上木材の性質を論ず」。新橋博品館勸工場を建てる。

ピアノ国産化・・・1900＝36歳：糖尿病と診断され、療法として義太夫を始める。人力車製造合資会社工場を買収。標本家屋を売却。

田中正造直訴1901＝37歳：次女暢子出生。

教科書疑獄・・・1902＝38歳：長野県の平板石採掘権を買収。「天平石」と命名。

日露戦争始・・・1904＝40歳：六男罔夫出生。\_煙草工場を設計。巻煙草包袋機械を発明。

日露戦争終・・・1905＝41歳：三女愛子出生。

韓国反日暴動1907＝43歳：七男忠雄出生するが夭折。「千人画伯絵画展」開催。\_「職工新聞」創刊。

アヲオ創刊・・・1908＝44歳：八男貞亮出生。

伊藤博文暗殺1909＝45歳：\_「職工教育実施会」発会。

大逆事件判決1911＝47歳：九男翁助出生。

明治天皇没・・・1912＝48歳：東京市役所嘱託技師。道郎ドイツ留学。

ロシア革命・・・1917＝53歳：\*コンクリート製造研究所を設ける。可携性鉄筋コンクリート電柱の公開試験。

本格政党内閣1918＝54歳：母が死去。\_上野不忍池畔電気博覧会に可携性鉄筋コンクリート電柱出品。

原敬首相暗殺1921＝57歳：\_高田商会とコンクリート製造会社を共同で始める。

関東大震災・・・1923＝59歳：\_関東大震災で、既に施工してした伊藤式コンクリート塀など、殆んど無被害と自讃。

護憲三派圧勝1924＝60歳：郡司成忠が死去。「耐震耐火家屋建築」。

円本時代始・・・1926＝62歳：\_「伊藤式コンクリート製造所」を独力で始める。

金融恐慌・・・1927＝63歳：罔夫がベルリン遊学。染井墓地にコンクリートで「伊藤家之霊舎」を建立。

海軍軍縮条約1930＝66歳：古銅器コレクションを携えて、渡米。ロサンゼルス州博物館で古銅器展。

満州事変・・・1931＝67歳：道郎がアメリカから舞踏団をつれて、一時帰国し、公演。

五一五事件・・・1932＝68歳：上海事変により退去を命ぜられアメリカより帰国。

国際連盟脱退1933＝69歳：\_大阪に「研究所」を設け、無限動力機関の発明に没頭する。

帝人疑獄事件1934＝70歳：\_室戸台風の被害復興に対して、「家屋構造の常識」をNHK大阪より放送。

芥川直木賞始1935＝71歳：\_「新式大工法全」。大阪工業博覧会に新式大工法部品標本を出品。

二二六事件・・・1936＝72歳：

日中戦争始・・・1937＝73歳：

健保+総動員 1938＝74歳：\_「組立凝結石建築ニ就テ」を発行。

日米開戦・・・1941＝77歳：

・・・1942＝78歳：妻が死去。\*「防空に関する新考案の発表」。「世に先走り志たる発明」6巻をまとめて、

創価学会検査1943＝79歳：大阪で\_没した。

村松貞次郎「やわらかいものへの視点」、